

2018年7月31日

所属競技団体主将・代議員・審判員各位

一般社団法人日本ラクロス協会 理事会

## 夏季における試合催行に向けた協会の方針（2018年暫定版）

今年の夏は、日本列島で記録的な猛暑となっています。日本ラクロス協会（以下、JLA）では、過去2008年から全国のリーグ戦においてウォーターブレイクタイムアウトを実施し、今年も2月から『脳振盪・熱中症』について協議を重ねてきております。それらに対しての対策を各競技団体に伝えてきましたが、現在の記録的な高温状況（災害レベルの暑さ）を踏まえ、JLAでは主催団体の安全管理をより高度なものとするべく、理事会等での議論を行い、今年度の主催行事に限り「夏季における試合催行に向けた協会の方針」（2018年暫定版）を策定致しました。

取り急ぎ、8月及び9月の主催行事におきましては、以下の対策を実施致します（有料試合等の特定試合を除く）。尚、これらを実施することにより、各地区のリーグ戦期間の変更、リーグ戦前・中に試合日程の変更及び試合時間の変更（男子は15分クォーター、女子は20分ハーフへの短縮）等、異例の措置を取る場合があることをご理解ください。

### 【高温時の試合実施の判断について】

#### ●前日の判断基準

各会場に派遣された会場責任者（以下、会責）は試合前日18時に環境省熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>（以下、熱中症予防情報サイト）を確認し、試合会場に最も近い場所の暑さ指数（WBGT、前日の予測は3時間おきの数値が発表される）の予測数値がWBGT 31℃以上を示す場合は、試合を延期する。なお、予測数値は下記の例の通り、試合時間に最も長くかかっている時間帯の数値で判断する。

#### 【例】

- ・男子（試合時間想定100分）で14時20分試合開始の場合：15時の予測数値
- ・女子（試合時間想定75分）で14時20分試合開始の場合：12時の予測数値

#### ●試合当日の判断基準

試合当日に関しては、Field Director（以下、FD）が試合開始1時間前に熱中症予防情報サイトを確認し、試合会場に最も近い場所の暑さ指数（WBGT、当日の実測は1時間おきの数値が発表される）の最新の数値がWBGT 31℃以上の場合は、試合を延期する。

※緊急時対応として、急激な温度上昇や、湿度・風・日照の状況変化等で、FDまたは会責は、雷雨等と同様、試合の延期をできるものとする。

## 【ウォーターブレイクタイムアウトの実施時間の変更】

今年度実施するウォーターブレイクタイムアウトに関しては、1分から3分に変更する。  
また、フィールドを離れ、テント下などで水分補給以外に氷嚢などでアイシング等も行っ  
て構わない。

## 【事前の準備と心がけ】

- チームとして、熱中症対策の一環として下記の項目を実施してください。
  - ・ チームの責任者は前日までに試合当日のベンチ入りメンバーに関して十分な人数が確保できているかを必ず確認する。試合当日には選手及びスタッフの体調確認する事を義務とし（オフィシャル業務で派遣されている時も同様）、テントや氷などチームの備品準備やその他の予防措置に関しても必ず確認すること。
  - ・ チームの責任者は試合当日の集合時等に選手及びスタッフの体温確認を行い熱中症のクーリングの基準である 38 度以上の選手及びスタッフはベンチ登録をしないようにする。
  - ・ エンドライン・サイドライン付近に、両チーム・審判員・ボールパーソンが飲むことが可能な水ボトルを配置する。尚、水ボトルの準備は試合チームが行うものとする。
  - ・ 女子の試合に関しては、試合チームは色を統一した白または淡色系のバンダナ等、手ぬぐい及びタオル類の着用を推奨する。
  
- 事務局及び連盟として、熱中症対策の一環として下記の項目を実施してください。
  - ・ 試合日程で 8 月、9 月に開催する試合に関しては、各地区の事務局判断で試合日程及び試合開始時間の調整を行う。
  - ・ オフィシャル席並びに、両ベンチエリア後方でチーム持参のテント（重り付）の設置を可能とし、また充電式扇風機等の設置も推奨する（ただし、試合に悪影響を与えるような機材の設置は不可）。
  - ・ 試合前後・試合中にチーム関係者・審判員・運営スタッフが待機できる控室を可能な限り確保する。（控室がない場合はグラウンドサイドにテントなどで日陰を確保。）
  - ・ チームの応援や観戦者にも考慮し、熱中症予防のアナウンスを行い、飲料を購入できる場所を告知する。
  
- 審判員として、熱中症対策の一環として下記の項目を実施してください。
  - ・ ウォーターブレイクタイムアウトでは、審判員もオフィシャル席のテントに戻り、日陰での水分補給を行うようにする。
  - ・ 審判員の体調不良等の緊急時、CBO 及びテーブルオフィシャルとのローテーションや、会場にいる他の審判員との交代について、通常は認められない場合または予定していない

場合においても、それらを柔軟に認め対応する。

・平日に運動をする機会の少ない社会人審判員、特に常時空調の効いた室内で勤務している方は、熱中症のリスクが一番高いとも言える為、試合当日は早目に行動を開始し、外気温に身体を慣らす時間を確保する。

・派遣前日に止むを得ない事情により、残業による睡眠不足や会食による飲酒があった場合は、通常より熱中症のリスクが高まるため、より一層注意する。

### **【その他留意事項】**

1. 各競技団体の日々の活動（合宿等も含む）においても、本資料記載事項に関して配慮し、活動するよう努めるようあわせてお願い致します。
2. 今後、必要に応じて、各競技団体の暑さ対策の対応状況等の確認などを実施する場合がありますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。
3. 来期以降の夏場の公式戦実施に向け、JLAにおいて「公式戦除外期間又は時間の設定」、「全国大会形式・日程の変更」のほか、「試合実施最低人数設定の検討」、「熱中症対策を含む各種マニュアル類の見直し」、「オフィシャル備品及びチーム備品の見直し」などについて、引き続き検討等を進めていきます。

以 上